

今週のモーニングセミナー報告

令和4年8月31日(水)の講話 <第907回>

テーマ：しきなみ短歌を学んで

講師：香川県東かがわ市倫理法人会 事務長 赤山芳隆 様

(赤山芳隆 事務長)自分で講話したので、内容をレジメ代わりに記載します。生前、丸山敏雄創始者は「歌をすすめる言葉」①第一、歌は簡単である。一冊のノート、一本の鉛筆があれば足りる。②己を諦観(たいかん)し、自己に沈潜(ちんせん)、そのまま無明の掃蕩(そうとう)であり、自製の開發。③うれしい自己反省、快き鍛錬であり、知らず知らずの向上である。④悲しみがたちまち転じて喜びとなり、怒りはそのまま笑いとなり、憎悪は愛情に、恐怖は親愛に。⑤人生万事、赫奕(かくえき)とし、輝き渡る樂土となる。善悪美醜を超え、喜怒哀楽を絶した、真の美の境に転ずる。⑥歌を詠むことは、心の平らぎ、実践の緊張と深さを等しくする。<作歌の書：p1～p3>8月東かがわ市立大内小学校で土曜日授業で話をした内容を会員に説明する。そして自分の短歌を作成してもらおう～ 9名の方達が自作の短歌を前に出てさっそく発表していただきました。……大人もできるんだと、感心しながら、初めての短歌を聞かせていただきました。

当日朝の私の短歌

「はじめての 短歌講話を タタミ部屋 恥ずかしいやら うれしい空気」

「となりには トルコ桔梗が 眺めてる 短歌講話を 励ますように」

「みんなから 短歌を楽しく 湧くように 取り組む勇氣 きっと叶えて」

担当者：赤山 芳隆

しきなみ短歌について講話されました。短歌は 五七五七七の順番。字余りもOK。テーマを決める。地元の小学校にも短歌を教えに講話に行っている。小学生が作った短歌も紹介しました。

私個人としては印象に残った短歌

小学六年生の書いた 女子バスケ終了間際の大逆転息を止め祈る十五秒間

小学二年生の書いた ミニトマトうまれたばかりの赤ちゃんのにぎりこぶしと同じ大きさ

小学五年生の書いた 秋の日の旬の秋刀魚ほおぼれすだちの風味しあわせの時

小学生素晴らしいと思いました。また会員のみなさんも短歌を作りました。みなさん子供、孫、妻、ペット、倫理テーマを短歌にこめて発表されました。みなさんの気持ちを歌にこめ短歌勉強になりました。

私が作った短歌 テーマ ビール

1.仕事後の ビール最高 のどに来る キュツとしたのど アイムハッピー

2.秋が来た さんま食べたい 皮が好き パリッとした皮 ビールとあうね

会員さんからはビールに対する愛情が伝わってきたと言われました。普段の生活、仕事、気持ちを短歌にすると振り返りもできてよいことだと思いました。また作りたかったです。

赤山さんありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは9月7日(水)朝6:00～7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「令和5年度 会長・専任幹事 挨拶」と題しまして香川県東かがわ市倫理法人会 会長 松浦清貴 様、専任幹事 渡邊規昭 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 14社 14名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879)26-9000/FAX (0879)26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp